2021年　8月改訂（第３版）（図の整備）
2017年 11月改訂（第２版）（新規記載要領に基づく改訂）

添付文書

届出番号：20B2X00004000007

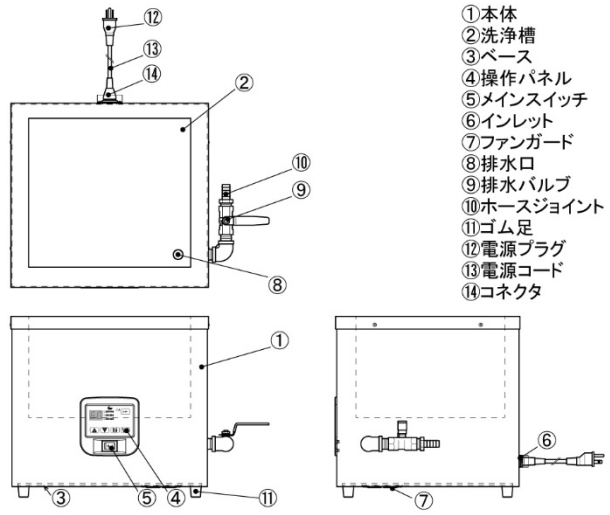
器　55　医療用洗浄器
一般医療機器　器具除染用洗浄器（35424000）

超音波洗浄機　MD-18S

【形状・構造及び原理等】

１．形状・構造

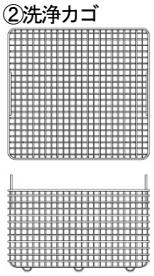
(1) 本体



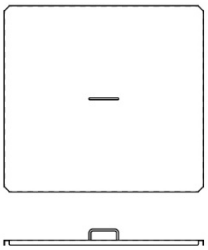
(2) 付属品

①スノコ

②洗浄カゴ



③フタ



(2) 本体の寸法及び質量

本　体　寸　法：391(幅)×365(奥行)×353(高さ)㎜
洗 浄 槽 寸 法：321(幅)×295(奥行)×200(深さ)㎜
洗 浄 槽 容 量：18.9L
質　　量：約14kg

２．動作原理

ＬＣ発振回路により発生した高周波をトランジスタにより増幅し、ステンレス洗浄槽の底面に貼付けた超音波振動子（セラミック振動子）に印加することにより振動子を共振させ、洗浄槽内の液体（水など）に伝搬し液中の被洗浄物を効率よく洗浄する装置である。

３．仕様

定　格　電　圧：AC 100V　50/60Hz
消　費　電　力：650W
発 振 周 波 数：38kHz
高 周 波 出 力：最大300W
ヒ ー タ ー 容 量：420W
タ イ マ ー 設 定：最大60分

【使用目的、効能又は効果】

再使用可能な器具類の洗浄を行う。

【使用方法等】

機器の詳細な使用方法は、取扱説明書の使用方法の項を参照すること。
以下に概要を示す。

(1) 設置

〇室内に設置して下さい。
〇高温や湿気、埃のない場所へ置いて下さい。
〇水のかからない場所へ置いて下さい。
〇風通しの良い場所へ置いて下さい。
〇水平で振動や衝撃のないしっかりとした場所へ置いて下さい。
〇アースが取れる場所へ置いて下さい。
〇周囲に可燃性の液体やガスなどのない場所に設置下さい。
※アース線は必ず接続して下さい。

(2) 準備

①電源プラグを交流100Vの3Pのコンセント(D種接地工事のアース付)に差し込みます。
②本体側面の排水コックを閉めて下さい。
③洗浄槽に付属のスノコを入れて下さい。
④洗浄槽に洗浄物を入れて下さい。
　※必要に応じて付属のカゴを使用して下さい。
⑤洗浄槽に水を入れて下さい。(洗浄槽より水を溢れさせないで下さい。)
　※槽底面より100㎜以上は水を入れて下さい。

(3) 運転の開始

①本体前面のメインスイッチをONにします。
②必要な場合のみ下記の設定を任意に行います。
　・洗浄時間　　・ヒーター設定及び加温温度設定
③洗浄スイッチを押します。

(4) 運転の終了

①洗浄が終了すると、最初に設定されている時間を表示した状態で待機になります。
　・この状態で洗浄スイッチを押すと再び洗浄を開始します。
②運転を終了する場合は本体前面のメインスイッチをOFFにします。

(5) 排水方法

①本体側面のホースジョイントに排水ホースをしっかりと差し込んで下さい。
　※排水ホースの先端はシンク等へ入れて下さい。
②本体側面の排水コックを開けて排水して下さい。
③排水が完了したら排水コックを閉めて下さい。

※ 安全装置

・水温過昇温度保護装置
・電子回路過昇温度保護装置
・電子回路過電流保護装置

取扱説明書を必ずご参照下さい

【使用上の注意】

(1) 使用条件および使用環境の注意

1) 下記の人は使用しない。
①幼児や子供、ご自分で意思表示ができない方
②睡眠薬等を服用した人及びめいてい（酩酊）状態の方
2) 流しの中や浴室等の水が流れる所、湿気の多い所には置かない。
3) 屋外に設置しない。
4) 可燃性の液体やガスの近くでは絶対に使用しない。
5) アース線およびアース端子は、漏電遮断器で保護されていない他の機器と共用しない。
6) 無人の場所で本機の使用はしないこと。
7) 洗浄の目的以外には使用しない。
8) 海外では使用しない。
9) 傾いた所に置かない。
10) 振動の激しい所に置かない。
11) 高温になる所、直射日光の当たる所に置かない。
12) 火気を近づけない。
13) 暖房器具の近くには置かない。
14) 湿気や埃の多い所、腐食性ガスが発生する所などに置かない。
15) 洗浄槽に必ず付属のスノコを入れて使用する。
16) ガラス、レンズ及びアルミ製品などを洗浄するときは、破損の恐れがあるので注意する。
17) 漆器や金箔を施した食器、貴重品、鼈甲、貝細工、真珠、メガネなどは洗浄しない。
18) 水で洗うことのできないものは洗浄しない。
腕時計など生活防水規格の製品は洗浄しない。

(2) 使用前の注意

1) 必ず交流 100V の 3P コンセント(D 種接地工事のアース付)に接続する。
2) 指定された電源に必ず単独で接続する。
※AC100V 15A 以上(D 種接地工事のアース付き)の電源
3) 中性洗浄剤やアルカリ系洗浄剤以外の洗浄液は使用しない。
4) 揮発性の洗浄液などを使用する際は、室内の換気に充分注意する。
5) プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行わない。
電源コードをインレットから抜き差しするときは、濡れた手で行わない。
6) 電源コードや電源プラグの傷み、又はコンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
7) 電源コードを傷つけることや、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたりしない。
8) 洗浄槽下部より 100㎜ 以上水を入れること。
9) 排水管をつかんで本機を持ち上げない。
10) 使用前には電源コードの接続部など、汚れや水分が付着していないことを確認する。
11) 電源プラグ及びソケットは容易に離脱しないよう、正しく確実に接続する。
12) スイッチ、タイマーなどが正しく動作するか確認する。
13) しばらく使用しなかった時には、もう一度取扱説明書をよく読み、正常に、かつ安全に動作するか確認してから使用する。
14) 50℃以上のお湯は使わない。
15) 洗浄槽の縁に物を乗せない。

(3) 使用中の注意

1) 電源や操作スイッチは、濡れた手で操作しない。
2) 操作スイッチを強く押さない。硬い物や尖った物で押さない。
物をぶつけない。
3) 本機に水をかけたり、浸したりしない。
4) インレット、メインスイッチに絶対に水をかけない。
5) 電源コードにピンやゴミを付着させたまま使用しない。
6) 本体底面及の冷却穴より内部にピンなどの金属物や異物を入れない。
7) 洗浄中または液が入った状態で、本体を移動しないこと。
8) 洗浄槽から水を溢れさせない。
9) 使用中に高温部（洗浄槽、本体底面）に触れない。
10) 運転中に電源プラグをコンセントから抜かない。
11) 運転中に排水をしないこと。
12) ヒーター動作中に排水をしないこと。
13) 洗浄槽に水が入っていない状態では絶対に使用しない。（空焚き禁止）
14) 規定水位以下（洗浄槽底面より 100㎜）でヒーター動作を行わない。
15) 洗浄槽内に重いものを置かない。洗浄物を投げ入れない。
16) 本機下部（ゴム足近辺など）に液漏れを確認した際は、本機の使用を禁止する。
17) 洗浄中に異常が発見された場合は、直ちに使用を中止して電源を切る。
18) 排水バルブにものを乗せない。吊るさない。
19) 落下させたり、倒したりしない。
20) 60 分以上の連続使用はしないこと。
21) 本体底面の放熱口をふさがない。
22) 機器を暖房器具等に近づけて使用しない。
23) 長時間連続で洗浄運転していると本機内部の温度が上がり、過昇温度保護装置が動作します。
※この様な時は運転を停止し、しばらく待ってから再びご使用下さい。
24) 使用中は動作を絶えず監視する。
25) 停電のときは直ちに電源スイッチを OFF にし、プラグをコンセントから抜く。

(4) 使用後および保管のご注意

1) 使用直後に高温部（洗浄槽、本体底面）に触れない。
2) 使用後は必ず電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜く。
3) 電源コード部分を引っ張ってコンセントから抜かない。
4) 排水口がつまったときは棒などでつつかない。
5) 丸洗いは絶対にしない。
6) 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
7) 保管の際、コードを縛ったりしない。
8) コードを持って電源プラグを引き抜くなどして、コードの接続部に無理な力をかけない。
9) 本体、付属品などは、次回の使用に支障のないように清浄にし、湿気の少ないところに整理、保管する。
10) お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
11) 排水口につまる恐れのあるゴミは流さない。
12) 使用後は本体、洗浄槽、電源コードなどの汚れを落として保管する。

(5) 機器の故障及び改造に関するご注意

1) 分解、改造や自分での修理は絶対にしない。
2) コードが破損した場合は、勝手に交換せずに販売店に相談する。
3) 機器に故障が発見された場合は、勝手にいじらず、販売店に相談する。

【保管方法及び有効期間等】

1．保管環境

次の条件を満たしている環境下で保管して下さい。
温度：-20～50℃
湿度：30～80%RH（結露無きこと）
※高温・多湿、直射日光のあたるところ、また、ホコリ、腐食性ガスの多いところに保管しないで下さい。

2．耐用年数

５年
※スノコ、洗浄カゴ、フタ、洗浄槽、電源コードは消耗品であり耐用年数は適用されない。

【保守・点検に係わる事項】

1．保守

※使用後、本体・洗浄槽・付属品に付着している洗浄液は、柔らかい布できれいに拭き取る。
※本体・洗浄槽・付属品の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を含んだよく絞った柔らかい布できれいに拭き取る。

2．点検

※本機及び付属品は必ず目視による定期点検を行うこと。
※しばらく使用しなかった本機を再使用するときには、もう一度取扱説明書をよく読み、正常にかつ安全に動作することを確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社エスエヌディ

製造業者
株式会社エスエヌディ

取扱説明書を必ずご参照下さい